

アジア・太平洋研究センター主催
研究会

マラヤ共産党に見る 共産党の国際協力

戦後のアジアには、政府間の、いわば表の国際協力の他に、ほとんど公表されることのない、いわば裏の国際協力も存在した。欧米寄り国家の非合法反政府勢力(共産党)の相互協力と、それら諸勢力への社会主義国家(中国、ベトナム)の様々な援助である。今回は、1948年6月に抗英武装闘争を開始し89年にマレーシア政府、タイ政府と和平協定を結んで活動を停止したマラヤ共産党について、中国、ベトナム、タイ、インドネシアの党あるいは国家との「国際協力」がどのようなものだったか、いつ頃始まり、どのように変容し、どのように停止されたかなどに焦点を当てて、お話ししたい。

報告者：原 不二夫 (南山大学教授)

日 時：2008年10月9日(木)

17:00~19:00

場 所：南山大学名古屋キャンパス

J棟1F 特別合同研究室(Pルーム)

お問い合わせ

連絡先：南山大学アジア・太平洋研究センター

住 所：〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地

電 話：052-832-3111 (内線 3428・3429)

E-mail：cfas@ic.nanzan-u.ac.jp